

「みやざきの魚」を子どもたちに ー学校給食への取組ー

(都城市立縄瀬小学校ふれあい給食)

6月19日におこなわれた「ふれあい給食」は、事前に（公財）宮崎県学校給食会を通じ、高崎給食センターが都城市内の小学校においてフカを使った給食を通して地産地消の取組をしたいとの依頼により開催された。これまでも宮崎県学校給食会が主催する「ひむか地産地消交流給食会」の活動として、宮崎県産魚類の地元消費拡大に向けた活動を展開していたが、今回は、地元給食センターからの自主的な依頼という初めてのケースであった。

縄瀬小学校の2,3年生を対象に一緒に給食（フカのチリソース和え）を食べた後、宮崎県内で水揚げされる魚の説明をおこなったほか、内海定置網の動画を放映し、魚が水揚げされる様子も紹介した。

給食後、昼休み時間にフカ（アカシュモクザメ）の原魚と切身を学校ロビーに展示し、全ての生徒が見学した。生徒から「ザラザラする」「歯が鋭い」等色々な感想が聞かれた。

今後も宮崎産水産物の普及活動及び地産地消を期待して同様の活動を積極的におこないたい。

